



(政和会)

やす ども のり あき
安富 法明 議員

1、平成24年度 予算編成について

問 新年度は市長の改選期に当たりますが、当初予算を通年予算と骨格予算のどちらにされるかお伺いします。

答 第1次総合計画への取り組みを間断なく継続的に実行することが必要と考えますので、通年予算として編成をする事にしていきます。

問 財政基盤の確立に配慮をしながら効果的な投資を行い、まちの活性化が図られることが重要と思いますがどのようにお考えですか。

答 将来を見据え儉約はきちんとしながら、最も合理的

な形で投資をし、将来の美祢市のためにという基本的スタンスは変えず、気を緩めることなく実行していこうと考えています。

2、農林業等の 将来像について

問 美祢市の10年後の夢や姿を市民にわかりやすい形で表現することをお考えでしょうか。

答 本市では、世界ジオパーク登録を目指しています。それぞれの地域ごとで未来の目標を話し合っていたいただき、夢のある絵図を考えてもらいたいと思っています。

問 短期間では、なかなかまちづくりというものは形になりにくいものですが、ふるさと未来創造交付金事業は単年度事業で終わることなく事業の継続をお考えでしょうか。

答 地域づくり、まちづくりは根気よく継続性をもって取り込むことが必要ですので、来

年度以降も検討を加え、改良しながらやっていきたいと思っています。

問 農業後継者となり得る新規就農者、あるいはまちづくりのリーダーの育成に対する、市独自の事業の取り組みについてお伺いします。

答 地域特性がありますので、美祢市として限られた財源ではありますけれど、やっていけること、またやる必要があるだろうというものを考慮した上で、来年度以降の予算に反映していきたいと思っています。

3、養鱒場の 経営改善について

問 慢性的な赤字状態ですが、経費削減には限度というものがありません。収益事業であるからには、売る努力をし



元気に泳ぐニジマス（別府養鱒場）

なければならぬと思います。どのようなお考えでしょうか。

答 収入を得るために必要な投資は当然してまいります。経営改善のためには職員に収益事業であり商売であるということを意識してもらい、根付かせたいと思っています。



(新国会)

ばん だい やす お
萬代 泰生 議員

1、有害鳥獣被害防止対策について

問 有害鳥獣被害防止対策の柱となる農林業作物の被害状況と具体的な被害防止対策についてお伺いします。

答 平成23年度予算で有害鳥獣対策事業を3千431万円を計上し、被害防止に努めています。農作物被害額は3千590万円に及んでいます。具体的には、猟友会に4月2回、美祢捕獲隊の約50名の方に、於福町北部を中心に捕獲作業を実施しました。捕獲の担い手確保のために銃器やわなの狩猟免許取得補助金の創設、また、箱わなを34基購入し、各所へ配置しています。さらに、鳥獣捕獲奨励事業を行うなど、防止対策に努めております。

しかし、サルによる人的被害が発生しましたので、直ちに住民の方々に注意を呼びかけ、わなを設置するなどの対策をしたところ です。

問 銃器組織や自営わな組織の人数とその役割についてお伺いします。

答 猟友会の組織については、市全体では銃猟112名、わな猟が120名です。猟友会へは有害鳥獣捕獲業務、イノシシ徹底捕獲業務、サル捕獲技術普及促進事業、外来種・有害鳥獣生息状況等調査業務、鳥獣害防止施設管理業務の5つの事業を委託しています。

問 美祢市有害鳥獣防止対策協議会の役目についてお伺いします。

答 平成21年3月に発足し、美祢市の農林産物を有害鳥獣から守るため、関係機関と緊密な連携のもと被害対策のための計画等を樹立することにより、有害鳥獣対策等を的確かつ効率的に行うことを目的としています。

問 鳥獣による人的被害への対応策についてお伺いします。

答 美東地域の告知放送で朝夕2回の定時放送、並びに臨時放送で市民向けに注意を呼びかけるなど、広報車によるパトロールを強化するとともに、猟友会の協力を得て、箱わなを3基設置しました。被害にあった美東中学校に、エアガン2丁を備えました。

問 人的被害や鳥獣被害を含めた体制整備についてお伺いします。

答 行政機関、美祢市有害鳥獣対策協議会や猟友会、その他さまざまな組織を連携させた形で有害鳥獣に対する体制を喫緊に取り組んでいきたいと考えております。



有害鳥獣被害防止対策のため設置された電気柵